

おじゃまします！

文責：徳永哲郎（地域学校コーディネーター）

見守りの輪 拡大中！

トヨタカローラ鳥取境港店様（蓮池町）が「かけこみ110番の家」のステッカーをもとに、黄色い幟^{のぼり}を作られ、さっそく店の前に立てていただきました（写真）。

同店では従来から「かけこみ110番」ステッカーを建物の角に貼っておられましたが、一中校区CSの活動やスローガンに賛同され、「もっと目立つようにしたい」と、今回境小を訪ねてデータを持ち帰り、幟^{のぼり}を自社制作したとのこと。

同店営業担当の北真一郎さんは「自分にも小学生の子どもがいるので、無関心ではいられなかった。子どもたちの安心・安全のために、これからも役立っていききたい」とにっこり。



「子ども110番の家」とは？

平成8年、事件をきっかけに岐阜県可児市の小学校がPTA主体で始め、その後全国に広がったボランティア活動です。「地域ぐるみで子どもたちの安全を確保することを目的として、身の危険を感じた時などの「緊急時に安心して助けを求め駆け込める場所」として各自治体・学校等が民家、店舗、事務所等に協力を依頼して設置されたもの」です（鳥取県公式サイトより）。ステッカーを貼った車が地域を走ったり、ジョギングや犬の散歩の際に目につくベストを着用したりする「ながら見守り」も同じ趣旨。一中校区CSでは、このような「無理のない見守り」を推奨しています。



地域で子どもたちを育てる

「後輩たちをよろしく！」

3月上道小

～卒業生がボランティアに感謝状～

卒業を控えた6年生が読み聞かせボランティア団体「かっぱ隊」の皆さんにお礼の手紙を贈りました。

●「僕たち六年生はもうかっぱ隊さんたちの音読を聞くことはないかもしれないけど、在校生たちにはこれからもすてきな音読を続けていってください。」

●「かっぱ隊のみなさんとたくさんの本に出合って、たくさんの面白さに気づくことができました。」

メンバーの一人の遠藤博江さんは、「後輩たちをよろしく」という思いがうれしいです。これが引きつがれて行くのが伝統になるのですね。頑張りたいと思います」と笑顔でした。



みんな子どもが大好き！

「平和への願い新たに」

4/23 境小

～6年生が「玉栄丸事故」慰霊碑へ～

4月23日、境小6年生が総合的な学習の一環で「玉栄丸爆発事故慰霊碑」（大正町）を訪れました。

76年前のこの日起きた、陸軍徴用貨物船「玉栄丸」の爆発事故は、死傷者400名以上、400棟以上の家屋が焼失・倒壊という山陰最大の戦災でした。子どもたちは慰霊碑の前で歴史研究家の根平雄一郎さん（境小卒業生、東本町在住）から、当時の様子や被災者の思いを聞きました。校区内で起きた悲しい歴史を知り、子どもたちは平和への思いを深く胸に刻んだようでした。

「地域のひと・もの・こと」に学ぶ学習は地域への愛情を育てます。



76年前に思いをはせる

「ここは私たちの出番！」

5/15 一中

～体育祭の成功を支えた親パワー～

コロナの影響で午前中に短縮、初の5月開催となりましたが、生徒会や各学級で一致団結し取り組んだ成果が随所に見えました。終了後は「天気は下り坂」の予報の下、善波満PTA会長の呼びかけに役員有志約20名がテントの撤収作業にあたり、約30分で完了しました。



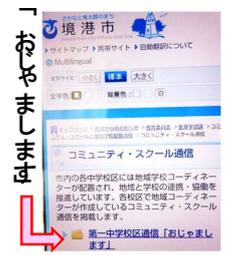
こんな姿が見たいから頑張れる！

「おじゃまします！」をカラーで！

境港市ホームページでCS情報が見られるようになりました。インターネットで「境港市 社会教育」と検索し、「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動」をクリックしてください。

学校からのお便りや自治会回覧の「おじゃまします」は白黒印刷で、雰囲気は十分お伝えできませんでしたが、ホームページではカラーでより鮮明にご覧いただけます。

一中校区CSでは、コロナ禍の状況をみながら、今年もいろいろと取り組んでいきますので、よろしく願います。



「おじゃまします」

境港市HPから